

事務事業評価シート

事務事業コード	020900	重点施策	まちづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	人材誘致・定住促進対策事業		所属名	企画推進部地域振興局 地域振興課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の まちづくり	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成18年度 ~ 全期
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	3201	ふるさと・いなか回帰の促進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	住んでいる地域に今後も住み続けたいと思う市民の割合(H26年度:82.1%)		0%	89%	運営方法	直営
	移住定住世帯数		297世帯	1,320世帯	会計区分	一般会計
	移住定住者数		514人	2,400人		
予算	予算事業名	人材誘致・定住促進対策事業費			予算事業コード	01-02-01-07-01-14

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	本市への移住(UJIターン)希望者
意図 (どのような状態 にするために)	UJIターンを希望する人や田舎暮らし・スローライフを希望する人が増えている現状を踏まえ、特に若者や団塊世代に本市への移住を促進する。
手段 (どうするのか)	Uターン相談支援窓口において、移住希望者へ本市の定住情報を総合的に提供するとともに、相談員によるきめこまやかに継続的な支援を行う。また、都市部で開催される移住関連イベントにブースを出展するなど、県外での戦略的な情報発信を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		①お試し定住体験事業 ②UJIターン者住宅 利活用推進事業 ③移住定住空き家運営 業務委託事業 ④ようこそ奨励金事業 ⑤交流情報ガーデンに 相談員を配置	①お試し定住体験事業 ②UJIターン者住宅 利活用推進事業 ③移住定住空き家運営 業務委託事業 ④ようこそ奨励金事業 ⑤避難者への住宅支援 事業を実施	①お試し定住体験事業 ②UJIターン者住宅 利活用推進事業 ③移住定住空き家運営 業務委託事業 ④ようこそ奨励金事業 ⑤避難者への住宅支援 事業を実施	①お試し定住体験事業 ②UJIターン者住宅 利活用推進事業 ③移住定住空き家運営 業務委託事業 ④ようこそ奨励金事業 ⑤避難者への住宅支援 事業を実施	①お試し定住体験事業 ②UJIターン者住宅 利活用推進事業 ③移住定住空き家運営 業務委託事業 ④ようこそ奨励金事業 ⑤避難者への住宅支援 事業を実施	①お試し定住体験事業 ②UJIターン者住宅 利活用推進事業 ③移住定住空き家運営 業務委託事業 ④ようこそ奨励金事業 ⑤避難者への住宅支援 事業を実施
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	55,062	0	0	0	0	
	直接経費 A	55,062	0	0	0	0	
	直接経費の財 源内訳	国・県	5,336	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	23,109	0	0	0	0
一般財源	26,617	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	【KPI】Uターン支援登録制度の登録者数	人	目標	1250
	(指標の説明) 定住促進・Uターン相談支援窓口の相談登録者。基準値は平成27年度実績。		実績	139	0	0	0	0
2	【KPI】官民協働による首都圏等での相談会の開催	回	目標	1	2	3	4	0
	(指標の説明) 年4回以上の開催を目指す。		実績	4	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 移住定住促進係 0857-20-3184</p> <p>【10次総の施策体系】 3201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P51（地001）</p> <p>【事業の概要】 UJIターン希望者や田舎生活希望者が増えている現状を踏まえ、関係課、ふるさと鳥取県定住機構などと連携を取り、就業・生活・住宅等の情報提供機能や相談機能等を一本化した「鳥取市定住促進・Uターン相談支援窓口」を平成18年9月1日に開設。相談者にきめ細やかな対応を継続的にするため現在、専任相談員を4名配置。平成24年12月からは首都圏・関西圏にそれぞれ1名ずつの相談員を配置。また、平成28年1月10日に移住・交流情報ガーデンを設置し、移住定住コンシェルジュを3名配置し、合計9名で移住促進を図っている。</p> <p>○事業の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 移住定住相談員の配置による相談対応及び情報発信 2. 移住定住ネットワーク事業 3. お試し定住体験事業（旧市内、福部、河原、用瀬、佐治、気高、鹿野地域） 4. 移住定住空き家運営業務委託事業 5. 空き家利活用促進事業 等 <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 窓口対応延べ件数 26年度1,442件 27年度1,429件 28年度1,204件 2. 窓口相談登録世帯数 26年度489件 27年度484件 28年度447件 3. 窓口移住者数 26年度200世帯351人 27年度178世帯326人 28年度119世帯188人 <p>【今後の課題・方向性】 本事業は、本市の移住定住施策を内外に強くアピールするとともに移住定住者増に大きな効果をあげており、今後も継続して推進する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】Uターン支援登録制度の登録者数	11%				
	2	【KPI】官民協働による首都圏等での相談会の開催	400%	400%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	年次計画で予定していた事業に加え、「避難者への住宅支援事業」を行った。
事業の成果 <small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	実績値は例年どおりであったが、目標値を高く設定したため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

本事業は、本市が重点的に取り組んでいる移住定住施策を内外に強くアピールするとともに、移住定住者の増加に大きな成果をあげているため、今後も継続する。次年度以降は、関西での情報発信拠点施設「麒麟のまち」を活用した情報発信や移住相談会にも取り組む。

事務事業評価シート

事務事業コード	021000	重点施策	まちづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	首都圏・関西圏移住定住相談員設置事業		所属名	企画推進部地域振興局 地域振興課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成24年度 ~ 全期
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
	施策	3201	ふるさと・いなか回帰の促進			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	住んでいる地域に今後も住み続けたいと思う市民の割合(H26年度:82.1%)		0%	89%	運営方法	直営
	移住定住世帯数		297世帯	1,320世帯	会計区分	一般会計
	移住定住者数		514人	2,400人		
予算	予算事業名	首都圏・関西圏移住定住相談員設置事業費			予算事業コード	01-02-01-07-32-27

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	本市への移住定住（UJIターン）希望者
意図 (どのような状態にするために)	本市への移住定住を促進し、地域力の向上を図る
手段 (どうするのか)	東京・大阪に移住定住相談員を配置し、大都市における移住定住関連情報の受発信を強化する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		①首都圏・関西圏移住定住相談員の配置	20900に統合(行政評価対象外)	20900に統合(行政評価対象外)	20900に統合(行政評価対象外)	20900に統合(行政評価対象外)	
	年度別実績	①首都圏・関西圏移住相談員を配置した					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	7,216	0	0	0	0	
	直接経費 A	7,216	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	7,216	0	0	0	0

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		[KPI]移住定住者数	人	目標	800	1200	1600	2000	0
		(指標の説明) 基準値は平成27年度実績。	実績	514	0	0	0	0	
	2	[KPI]移住定住者数	世帯	目標	440	660	880	1100	0
		(指標の説明) 基準値は平成27年度実績。	実績	297	0	0	0	0	
				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 移住定住促進係 0857-20-3184</p> <p>【10次総の施策体系】 3201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P54（地008）</p> <p>【事業の概要】 大都市圏において、新たに開発が進む中山間地域物産の宣伝・販路開拓並びに若者の鳥取市への就職・定住を強力に支援する「首都圏・関西圏移住定住相談員」を雇用・配置する。</p> <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 首都圏・関西圏移住定住相談員の配置 ・東京・大阪 各1名 2. 相談業務等の実績 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談業務</td> <td>96件</td> <td>124件</td> <td>202件</td> </tr> <tr> <td>大学等施設訪問</td> <td>61件</td> <td>51件</td> <td>40件</td> </tr> <tr> <td>物産宣伝</td> <td>27件</td> <td>13件</td> <td>4件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 平成18年9月の相談窓口開設以降の移住定住者が1,092世帯、2,117人（平成28年度末）に達するなど大きな成果を上げている。本市相談窓口との連携を強化し、本市への人材誘致・定住促進をさらに推進していく。</p>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	相談業務	96件	124件	202件	大学等施設訪問	61件	51件	40件	物産宣伝	27件	13件	4件
		平成26年度	平成27年度	平成28年度													
相談業務	96件	124件	202件														
大学等施設訪問	61件	51件	40件														
物産宣伝	27件	13件	4件														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】移住定住者数	64%				
	2	【KPI】移住定住者数	68%	68%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	<p>全国の自治体が地域創生の主課題として移住定住に取り組むようになり、移住者の争奪戦に苦戦している。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p><small>引き続き、大都市圏において、新たに開発が進む物産の宣伝・販路開拓並びに若者の鳥取市への就職・定住を強力に支援する「首都圏・関西圏移住定住相談員」を配置するが、関西圏移住定住相談員については、平成29年度より鳥取市が直営で運営を行う。</small></p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	021100	重点施策	まちづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	グリーンツーリズム推進事業		所属名	企画推進部地域振興局 地域振興課

1. 基本情報

位置づけ の 位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち	事業期間	平成18年度 ~ 全期
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	鳥取市中山間地域対策強化方針、鳥取県みんなで取り組む中山間地域振興条例
施策	3201	ふるさと・いなか回帰の促進			
目標の 実施の 目標	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分
	住んでいる地域に今後も住み続けたいと思う市民の割合(H26年度:82.1%)		0%	89%	ソフト(任意)
	移住定住世帯数		297世帯	1,320世帯	運営方法
	移住定住者数		514人	2,400人	補助金交付 一般会計
予算	予算事業名	グリーンツーリズム推進事業費		予算事業コード	01-02-01-07-34-05

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	<ul style="list-style-type: none"> ・とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会 ・鳥取市グリーンツーリズム連絡会 ・武蔵野市家族自然体験交流事業
意図 (どのような状態にするために)	都市住民が本市の農林漁業・文化・歴史等を通じて滞在型余暇活動を行うことにより中山間地域の振興を図るとともに、本市への移住定住を促進する。
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・民泊開設の研修・支援、優良事例の現地研修、会員等に関する活動をHP等を活用して全国に発信するととっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会の活動支援を行う。 ・研修会や交流会を行い会員間の連携強化や魅力向上に取り組む鳥取市グリーンツーリズム連絡会の支援を行う。 ・武蔵野市家族自然体験交流事業を支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会の活動支援 ②鳥取市グリーンツーリズム連絡会の活動支援 ③武蔵野市家族自然体験交流事業の支援	①鳥取市グリーンツーリズム連絡会の活動支援 ②とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会の活動支援	①鳥取市グリーンツーリズム連絡会の活動支援 ②とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会の活動支援	①鳥取市グリーンツーリズム連絡会の活動支援 ②とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会の活動支援	①鳥取市グリーンツーリズム連絡会の活動支援 ②とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会の活動支援	
	年度別実績	①とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会 会員数 27団体 ②鳥取市グリーンツーリズム連絡会 会員数 12団体 ③武蔵野市家族自然体験交流事業 20家族・58名参加					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,941	0	0	0	0	
	直接経費 A	1,941	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	79	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	824	0	0	0	0
一般財源	1,038	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	【KPI】とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会会員数	団体	目標	27	28	29	30	0	
				実績	27	0	0	0	0	
	(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。									
	2	鳥取市グリーンツーリズム連絡会会員数	団体	目標	14	14	14	14	14	
				実績	12	0	0	0	0	
	(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 振興係 0857-20-3185</p> <p>【10次総の施策体系】 3201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P56（地011）</p> <p>【事業の概要】 本市中山間地域では、豊かな自然や風景、地域振興会議で育まれた特産物、固有の伝統芸能や文化財など多様な地域資源を活かし、都市住民との交流を行うグリーンツーリズムが各地域で実施されている。これら各地域や集落単位等の取組を、全市または県東部一円で連携し推進する。</p> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会（県東部1市4町） （全国優良事例等各種研修の実施、専用ウェブサイトによる情報発信等） H22年度設立 会員数：H26/25団体 H27/25団体 H28/27団体 ・鳥取市グリーンツーリズム連絡会（本市全域） （研修会や交流会を行い会員間の連携強化や魅力向上） H18年度設立 会員数：H26/14団体 H27/14団体 H28/12団体 ・武蔵野市家族自然体験交流事業（県および県東部1市3町にて実施） （地域資源を有効活用しながら、都市住民と農村住民との交流を深める） H15年度開始 参加者：H26/8家族24名 H28/20家族58名 <p>【今後の課題・方向性】 とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会および鳥取市グリーンツーリズム連絡会の会員増加を促進し、教育旅行・着地型観光の推進を図る。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会会員数	100%				
	2	鳥取市グリーンツーリズム連絡会会員数	86%	86%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点での進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	年度当初の計画どおり事業を完了することができた。
事業の成果 <small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	鳥取市グリーンツーリズム連絡会会員数について、高齢化に伴う活動休止等の要因により会員数減となったもの。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>体験型観光が全国的に注目されるなか、農山村と都市部との交流機会をさらに拡大し、相互理解および一体的発展に寄与する事業として引き続き関係団体への支援を強化する。</small>		